



大分合同新聞
ワークシート

大分合同新聞
2023年
9月5日(火)
朝刊 14面

年 組 氏名

三重 おおのさくら 千歳 新田

豊後大野4幼稚園廃園へ

【豊後大野】豊後大野市教委は市立幼稚園(全5園)について、三重(三重町)、おおのさくら(大野町)、千歳(千歳町)3園の園児募集を停止して来年度から休園とし、廃園に向けた手続きを始める方針を決めた。3年連続で休園している新田(三重町)は来年度から廃園にし、東(同)のみ存続させる。

市教委、東のみ存続方針

市教委によると、幼児教育・保育の無償化や共働き世代の増加などで市立幼稚園への通園率が減少。2015年度の33・6%から23年度には12・6%と3分の1ほどに下がった。

背景には、保育所保育指針などの改定で幼稚園や認定こども園、保育園の区分

に関係なく全就学前施設で同等の幼児教育が受けられるようになったことや、小学校との連携が私立園でも進み市立園との違いが少なくなっていることなどがあるといふ。

存続させる東幼稚園には、公的機関としてのセーフティネット機能を持たせ、支援が必要な子どもの受け入れや、就学前施設に通っていない子の一時預かりなどを始める予定。さらに幼児教育アドバイザーを配置して教育力を高め、市子育

て支援課と連携してプレ授業などを通じた小学校へのスムーズな接続にも取り組む。

現在、市内16カ所で保護者らへの説明会を開いており、8月30日には大野支所(大野町)で自治委員を対象に開催。市教委の日浦賢一学校教育課長は「大野町でも大多数の子どもが私立に



おおのさくら幼稚園の募集停止などについて説明する市教委職員(写真上)と説明を聞く大野町の自治委員＝豊後大野市大野支所



〔問①〕豊後大野市立幼稚園への通園率が減少している理由は何？

幼児教育・保育の無償化や共働き世代の増加など

〔問②〕通園率減少の背景は？

幼稚園や認定こども園、保育園の区分に関係なく全就学前施設で同等の幼児教育が受けられるようになったことや、小学校との連携が私立園でも進み市立園との違いが少なくなっていることなど

〔問③〕豊後大野市に限らず、市立幼稚園の減少が起きている。あなたの考えをまとめ、話し合ってみましょう。

※自由記述